

感染症情報 6月18日～24日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1181例(堺市	57例)
②溶連菌感染症	565例(堺市	50例)
③咽頭結膜熱	156例(堺市	15例)
④突発性発疹	115例(堺市	9例)
⑤みずぼうそう	102例(堺市	3例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	6例(堺市	0例)
---------	-------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比9.0%減の2,429件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、咽頭結膜熱、突発性発疹、みずぼうそうの順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より15%減、堺市では前週より19%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より3%減、堺市で前週66例→今回50例で24%減であった。咽頭結膜熱は府下で前週比26%減、堺市で前週21例→今回15例であった(29%減)。この15例のうち6例が当科であった。みずぼうそうは府下で前週より15%増、堺市では前週が12例で、今回が3例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。